

第2章 計画の目標



1 彦根市が目指す環境像

本計画では、本市が目指す環境像を以下のように定めます。

— 環境像 —

歴史と文化が暮らしにとけこみ

ゆたかな自然と共に歩む ふるさと彦根

～ 川、湖、みどりと歴史のまちを未来へ ひこね環境 SDGs ～

私たちは、森・川・里・湖という大きなつながり(循環)の中で多様な生きものと共に暮らしています。

この大きなつながりのもとで生み出される豊かな自然や歴史資源、伝統文化といった様々な「恵み」は、“ふるさと彦根”として市民に愛され、大切に守り育まれてきました。

また、本市には“ふるさと彦根”を未来に引き継ぐための活動を進めてきた多くの市民や環境活動団体、事業者、教育機関などが存在しています。

この“ふるさと彦根”を慈しむ心を通じて、様々な人たちとのきずなを深め、さらに市外にも結びつきを広げることで、環境を軸とした持続可能で活力あふれるまちづくりを目指すとともに、“ふるさと彦根”を未来に引き継ぎます。

2 基本目標

彦根市が目指す環境像を実現するため、具体的な柱として5つの基本目標を定めます。

基本目標
1

人・自然・文化が
調和するまちづくり



人と自然、人と歴史文化が調和し、
様々な恵みが将来にわたって守り育
まれるまちづくりを目指します。

基本目標
2

安全・安心が実感でき
る快適なまちづくり



良好な大気や水などの環境が確保
され、ごみのポイ捨てがない安全・安
心で快適なまちづくりを目指します。

基本目標
3

水や資源の循環が
進んだまちづくり



森・川・里・湖のつながりや資源循
環に関する意識や行動が定着し、循
環が進んだまちづくりを目指します。

基本目標
4

未来の地球を守る
ためのまちづくり



環境に配慮した行動や事業活動が
定着し、地球温暖化対策が進んだま
ちづくりを目指します。

基本目標
5

参加と連携による人づくり・まちづくり

今ある環境を良くするにはどうすべきか自ら考え行
動する人材を育成し、人と人、人と地域、地域と地域
の連携が進んだまちづくりを目指します。



3 施策の体系

環境像

歴史と文化が暮らしにとけこみ ゆたかな自然と共に歩む ふるさと彦根

～川、湖、みどりと歴史のまちを未来へ ひこね環境SDGs～

----- 基本目標 -----

----- 基本施策 -----

----- 個別施策 -----

環境像の実現

基本目標
1

人・自然・文化が調和する
まちづくり



- 水とみどりの保全と活用
- 生物多様性の保全
- 彦根らしさの保全と活用

- 琵琶湖の保全・活用
- 河川や内湖などの保全
- 里地里山の保全・活用
- まちなかの緑の保全
- 貴重な生物の保全
- 有害鳥獣と外来生物の適正な管理
- 歴史的なまちなみの保存・継承・活用

基本目標
2

安全・安心が実感できる
快適なまちづくり



- 環境リスクの低減に向けた取組の推進
- 美しいまちを守るための取組の推進

- 良好な大気・水・土壌環境の保全
- 騒音、振動、悪臭の防止
- 化学物質などによる環境リスクの低減
- ごみのポイ捨て防止、空き家・空き地対策の推進

基本目標
3

水や資源の循環が進んだ
まちづくり



- 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進
- 環境にやさしい消費の推進
- 森・川・里・湖の水のつながりの保全

- 食品ロスやプラスチックごみ削減の推進
- 3Rの普及促進
- グリーン活動、地産地消の推進
- 漂着ごみ対策の推進

基本目標
4

未来の地球を守るための
まちづくり



- 緩和策の推進
- 適応策の推進

- ECO行動・活動の推進
- 低炭素型のまちづくりの推進
- 計画的な地球温暖化対策の推進
- 気候変動を踏まえた適応策の推進

基本目標
5

参加と連携による人づくり・
まちづくり



- 人づくり・仕組みづくり
- 情報の共有化の推進

- 環境学習・環境保全活動の充実にに向けた仕組みづくり
- 環境情報の収集と発信

【本計画でSDGsの目標実現に貢献する内容】

基本目標	本計画で SDGsの目標実現に貢献する内容	
基本目標1 人・自然・文化が調和するまちづくり		本市の自然の恵みや歴史資源をエコツーリズムや環境学習の場として活用します。
		河川や琵琶湖の適正な管理・保全を通じて良好な水環境の保全を進めます。
		歴史・文化財などに関する出前講座の開催などを通じて、歴史的なまちなみや歴史的建造物の保全に関する市民意識の醸成を図ります。
		森林や農地の開発の際、環境への配慮を呼びかけることを通じて、森林や農地、河川など自然の保全を進めます。また、歴史的まちなみの保全を通して、持続可能な開発や自然、歴史・文化と調和したライフスタイルの普及を図ります。
		河川や琵琶湖の保全を通じて、琵琶湖の生態系の保全を図ります。
		森林や農地の保全を通じて、生態系の保全を図ります。生物多様性についての情報発信や希少種の保護、外来種対策を通じて、生物多様性を保全します。
基本目標2 安全・安心が実感できる快適なまちづくり		大気や水、土壌の汚染防止、有害化学物質の適正管理の呼びかけや環境の監視を通じて、人の健康や環境への悪影響を最小化します。
		河川や琵琶湖、下水道の適正な管理により、水質の汚染などを防止します。
		環境に配慮した製品づくり、環境に配慮した製品の利用を通じて、持続可能な社会の形成を目指します。
		環境に配慮した製品づくり、環境に配慮した製品の利用を通じて、人の健康や環境への悪影響を最小化します。
		生活排水や事業排水対策を通じて、河川や琵琶湖の水質を保全します。
		ごみのポイ捨てや不法投棄対策を通じて、美しい自然景観や農村景観を保全します。

基本目標	本計画で SDGsの目標実現に貢献する内容	
基本目標3 水や資源の循環が進んだまちづくり		森・川・里・湖の水のつながりの重要性や漂着ごみ問題についての情報発信やマイクロプラスチック対策などを通じて、市民の環境意識の醸成を図ります。
		森・川・里・湖の水のつながりの重要性や漂着ごみ問題についての情報発信やマイクロプラスチック対策などを通じて、広域的なつながりを保全します。
		3R の推進や森・川・里・湖の水のつながりの保全を通じて、持続可能な社会の形成を目指します。
		廃棄物や食品ロスの削減、グリーン活動などを通じて、環境に配慮した事業活動、日常生活の普及を進めます。
		森・川・里・湖の水のつながりについての情報発信や漂着ごみ対策を通じて、琵琶湖の生態系の保全を図ります。
		森・川・里・湖の水のつながりについての情報発信や漂着ごみ対策を通じて、森林などの生態系の保全を図ります。
基本目標4 未来の地球を守るためのまちづくり		再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入を通じて、クリーンエネルギーの普及やエネルギーの効率化を進めます。
		ECO 行動・活動の普及や低炭素型のまちづくりを通じて、持続可能な社会の形成を目指します。
		廃棄物や食品ロスの削減、グリーン活動などを通じて、環境に配慮した事業活動、日常生活の普及を進めます。(再掲)
		災害に強いまちづくりを進め、気候変動への適応を推進します。
基本目標5 参加と連携による人づくり・まちづくり		学校教育や市民、事業者への環境学習などを通じて、持続可能な開発を実現するために必要な知識などの普及を進めます。
		性別が偏ることなく意思決定の場に参加できる体制を整え、リーダーシップを一層発揮することを目指します。
		市民、事業者、各種団体、市が協働し、環境保全活動を推進します。